

建築家「川島範久氏」が講師 建築デザイン講習会2025

— 広 工 大 —

建築デザイン学科が務めている。今年は環境工学の知見を活かし、多様な建築を手掛けてきた世界的建築家の川島範久氏が講師を担当した。

講演会には、建築デザ

イン学科の1・2年生を中心に約250人が参加し、自然素材と人口素材をハイブリッドした循環型建築の在り方や、次世代の環境デザイン建築について学んだ。

開講に先立ち、同大学建築デザイン学科の鈴木浩史学科長があいさつし、同学科杉田宗教授が川島氏の経歴紹介などを行った。

講演会では、講師の川

島氏が「自然とつながる建築をめざして」をテーマに、日本の気候が与える影響を考慮した建築デザインの重要性や、長い年月をかけて紡がれてきた日本の伝統建築から学ぶポイントなどを説明した。

講演会のようす

最後は、川島氏と学生の間で積極的な質疑応答が行われ、「建築を学ぶ上でどんなアプローチをすべきか」「浮かんだ建築デザインのアイデアをどのように実現しているのか」といった学生からの質問に対し、一つずつ丁寧に回答していた。

広島工業大学（長坂康史学長）は、広島市佐伯区の同大学講義棟アネホールで「建築デザイン講演会2025」を開催した。講演会は、学生の学習意欲向上を目的に毎年実施しているもので、主催は同大学の環境学部

